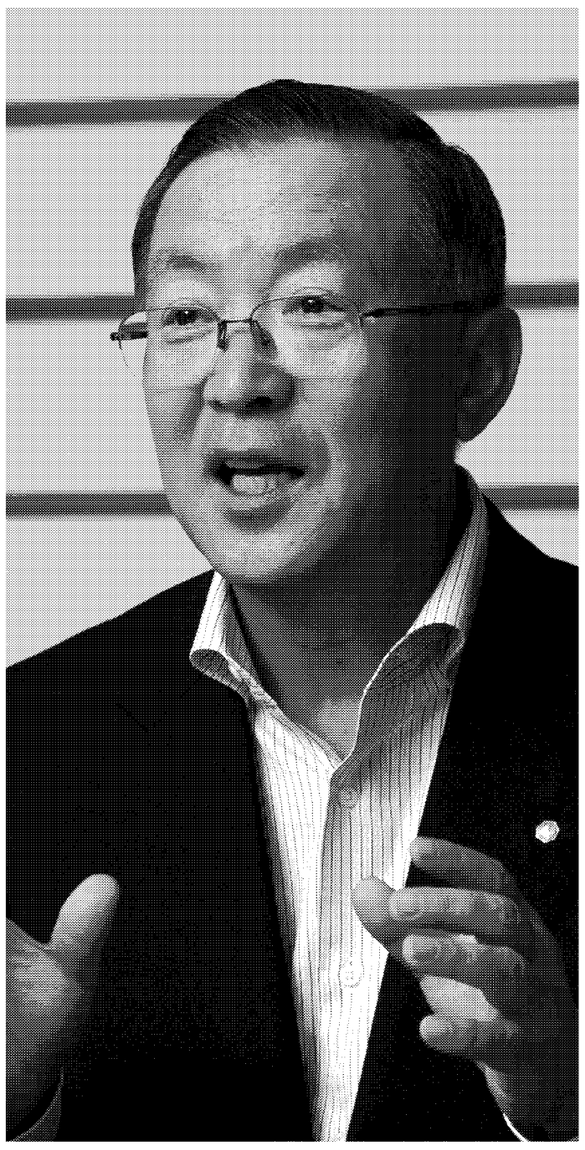
130 朝日新聞

LEADERS AS READER
リーダーたちの本棚 VOL.6

企画・制作 朝日新聞社広告局　広告特集

READING

大切なのは心の豊かさと人生の質



ライオン株式会社　代表取締役社長

藤重貞慶さん

ふじしげ　さだよし

「昔は貧本屋というものがあって、私が小学校の時分は1冊10円。漫画、文学全集、偉人伝と次々借りていたら、近所の貧本屋の本は読み尽くしてしまいました（笑い）」。漢詩のもつ調子が好きで、唐詩選を音読した青年期。大学時代は司馬遼太郎や陳舜臣の壮大な歴史物に傾倒した一方で、「貧しいけれど心に清らかさをもつ人間たちが織りなす黒岩重吾の世界にひかれました」。大の読書家、ライオンの藤重貞慶社長が特にと選んだのは、この夏休みに親子で読んでもらいたい本だ。

人々が今求めているのは、21世紀の「幸せの方程式」

子どものころから、とにかく本は好きでした。昔は気ぜわしく話の先を追う速読派でしたが、最近は一冊一冊をじっくりと読みます。作者が何を伝えたいのか、行間や背景を考えながら自分の解釈を見つける。読書ならではの楽しみですね。

好きな本はたくさんありますが、まずは子どもたちに私が一番読んでもらいたい本であると同時に、大人も読み、親子で深い会話をしてもらいたい本を紹介します。それは富山和子さんの自然と人間シリーズ、『森は生きている』『川は生きている』『道は生きている』です。

この三部作は、日本という国の成り立ちの一番大事なところを深く、そして子どもに分かる文章で易しく伝えてくれる最も優れた本です。それをなぜ大人にもお薦めするかというと、私たちが今、時代の大きな岐路に立っているからです。

昨今の市場環境は非常に厳しく、社会は混迷の時です。その真の原因は、「20世紀の幸せの方程式」が行き詰まってきたからではないかと私は思います。その方程式の中心にあったのは、モノの豊かさが幸せを決める、経済成長至上主義でしょう。しかし、どうやら人々はお金やモノでは満たされなくなっています。

今はまさに、人々が「21世紀の幸せの方程式」を探し求めている時ではないかと思います。それはモノの豊かさよりも心の豊かさ、人生の長さよりも人生の質が大事であることに人々が気づき始めたということではないでしょうか。

親子に薦めたい富山和子の『生きている』三部作

人生の質がよいとは、例えば人の役に立つとか、社会の役に立つことです。あるいは自分が望む生活を送ることができる健康を保って、寿命を全うすることでしょう。その実現のためには、いくつかキーワードがあります。まずは新しい技術と新しい思想による自然との共生。次に人と人の心がもっと通い合う、人間愛の尊重。そして循環型社会の形成です。富山さんの著作は、そんな新しい社会を目指す私たちに貴重な示唆を与えてくれます。

例えば川は多くの恵みを運ぶ一方で、氾濫（はんらん）によって生活を脅します。日本では川をいかに治めるかということを中心に共同社会が成り立ち、川との闘いが文化を育んできました。現代は川との付き合いが忘れられがちですが、『川は生きている』は水を通して人間が自然とどう付き合っていくかを考えさせてくれます。

また昔の日本では、街道のそばに住む人たちが何百年と並木の世話をし続けていました。並木道が涼しい木陰を作り、雨宿りの場所になり、食料のない旅人に木の実を提供するからです。日本は、人が人に対して優しかった。社会が人に優しかった。そんな安心感が日本の繁栄を築いてきたと『道は生きている』は説いています。つい最近まで残っていた日本人の生活観や自然観の中に、新しい幸せのヒントがある。そう私は思います。

『文明の生態史観』は独創的な歴史観に感嘆

もう一冊は、梅棹忠夫さんの『文明の生態史観』です。これは人間の文明の歴史を生態学のアプローチから説明しようとした、極めて独創的でスケールの大きな本です。初めて読んだのは大学時代でしたが、自然が人間の生理（思考様式や行動様式）を深いところで決めているという斬新な世界史モデルに触れた時の驚きと感動は、今も消えていません。

梅棹さんはアメリカを除く旧世界を、自然が人に優しく、ほぼ同時に産業が振興して資本が蓄積された第1地域（日本、西ヨーロッパ）と、その他すべての第2地域（中国や中近東など）に区分しました。私が深く考えさせられたのは、第2地域には巨大な乾燥地帯が存在し、厳しい砂漠の風土と呼応するかのように、大体において徹底した破壊と征服を繰り返した歴史をもつという作者の指摘です。

今日重要な点は、少なくとも過去には持続的な発展がなされなかったこれらの地域が、これからの世界の成長センターであるといわれていることです。破壊の歴史を食い止め、環境と調和した社会を実現させるためには、自然との付き合い方の新しい価値観や新しい技術の導入に、第1地域の国々が力を貸さなくてはならないのではないでしょうか。私たち日本人はそれに貢献する、大きな役割をもっていると思います。（談）

LEADING

人々の快適さと、環境に貢献する経営を

健康、美容、清潔など人々の暮らしと多様な接点をもつライオン。同社は「人々の快適生活に貢献する」「環境先進企業をめざす」というビジョンを掲げる。

「快適とは、いくつになっても質の高い生活を送ること。老化に逆らうアンチエージングではなく、年を重ねることを充実させるビューティフルエージングの発想が大切」だと藤重社長はいう。

「例えば百歳以上の方の楽しみの上位四つは、食べること、家族との語らい、寝ること、友人との談話、だそうです。食べることも話すことも、歯が大きくかかわっています。また最近の研究では歯周病菌が、心筋梗塞（こうそく）や糖尿病などと深い関係があるといわれています。ライオンは歯磨きを発売して今年で113年ですが、口腔（こうくう）環境を衛生に保つことは、全身の健康にも役立ちます」

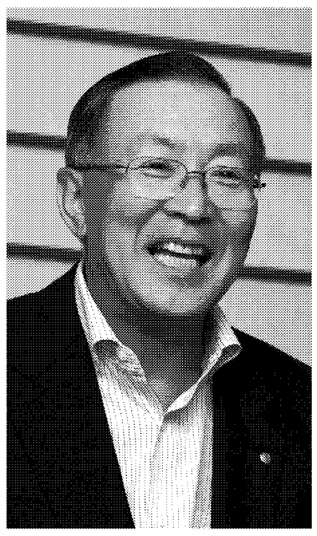
明晰（めいせき）にして哲学的なドラッカーへの敬服

環境への取り組みでは、今年2月、洗濯用洗剤「トップ」を改良し、洗浄成分の植物原料の割合を約76％まで引き上げた。現在、同社の商品売り上げ構成は、CO_2の削減に貢献する植物原料の比率が50％以上の商品が約6割を占める。

「環境については三つの柱で考えています。一つは石油原料から植物原料への転換、二つ目は水環境の保全。三つ目は商品作りにおける環境基準の順守です」

リーダーとして感銘を受けた本を尋ねると、『経営戦略の論理』（伊丹敬之著）、『ビューティフル・カンパニー』（嶋口充輝著）、『リストラなしの「年輪経営」』（塚越寛著）など、近年の著作が次々と飛び出した。電車通勤で出社し、わずかな移動時間も本を欠かさない読書家の一端がうかがえるが、「一番はやはりピーター・ドラッカー」という。

「ドラッカーさんとはアメリカでお会いしたことがあります。直接お話しをして強く感じたのは、彼は哲学者であると同時に一流の歴史家だということ。それとデモグラフィック（人口学的）な分析を重視し、年齢別構成の変化や所得分布といった分かりやすい基礎データに基づき近未来を予測したことです。歴史的な洞察の上にたった彼の哲学的なコンセプトは、今もなお独創的です」

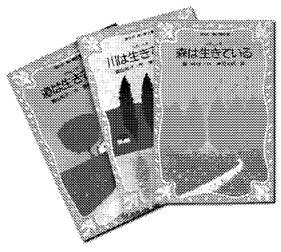


1947年埼玉県本庄市生まれ。65年、慶應義塾大学商学部入学。マーケティングを専攻し、サッカー部でゴールキーパーとして活躍。69年に卒業後、ライオン油脂(株)入社。シャンプーのトップブランド「エメロン」を担当するなど主にマーケティング、商品企画で活躍。子会社の管理部門への出向などを経験し、90年に本社イノベーションルーム室長。取締役、国際事業本部長などを経て、04年、代表取締役社長、最高経営執行責任者に。06年から取締役会議長、家庭品事業部門分担を兼任。現在、代表取締役、取締役社長、取締役会議長、最高経営責任者。

聞き手／広告局長補佐　佐藤泰　　構成／松身　茂　　撮影／星野　章

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、藤重さんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com　朝日新聞 広告　検索

藤重貞慶さんがすすめる5冊

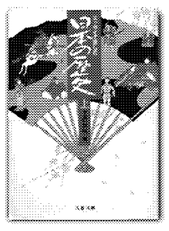


『森は生きている』ほか三部作
（講談社青い鳥文庫）富山和子・著

「日本という国とその今日の豊かさの大もとが、日本人が養い育ててきた森林や土にあることを教えてくれる本。真理は常に身近にあり、何を一番大切にしていかなければならないかを改めて気づかせてくれます」

『竹西寛子の松尾芭蕉集・与謝蕪村集』
（集英社）竹西寛子・著

「私がいつも枕元におく、芭蕉・蕪村の代表的な句を解釈した本。解釈とは全身全霊を傾けて自分のエネルギーを作者にぶつけ、自分自身の感性を表現する、極めてクリエーティブな仕事だと感得させられます」

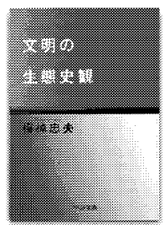


『エッセイで楽しむ日本の歴史 上・下』
（文春文庫）文藝春秋編

「当代第一流の作家、研究者による歴史エッセー集。日本の誕生から幕末まで、各時代のエポックメーキングな史実や人物を取りあげ、日本の通史にもなっています。時間の合間に楽しめる質の高い歴史の案内書」

『呼吸入門』
（角川文庫）齋藤孝・著

「息は身体と心をつなぐ道。かつて日本人は強い呼吸力を持ち、人物の器は精神力、行動力を規定する息の力で判断されたといいます。日本人の身体文化を取り戻し、人生を強く豊かに生きていくための書です」



『文明の生態史観』
（中公文庫）梅棹忠夫・著

「著者が世界の文明史に取り組まれたのは、人類の歴史の法則性を知りたいからだといいます。できれば梅棹さんには、アメリカを含む世界の最近までと、これからについて語ってもらいたいですね」

FU SO SHA 扶桑社
お問い合わせ先●扶桑社・販売グループ
☎03-5403-8859(月～金 10:00～17:00)
〒105-8070 東京都港区海岸 1-15-1
www.fusosha.co.jp ●定価・価格は税込です。

スペンサー・ジョンソンの
最新刊
早くも北米、アジア各国で話題沸騰！ 超ベストセラー『チーズはどこへ消えた？』の著者が100年に1度の大不況の世に問う、10年ぶり待望の書き下ろし！
頂きはどこにある？
門田美鈴／訳 ■予価980円
Peaks and Valleys
どん底を乗りきる人生の指針
いよいよ9月発売！

今なお読まれつづける、現代ビジネスマン必携のバイブル！
チーズはどこへ消えた？
Who Moved My Cheese?
スペンサー・ジョンソン著 門田美鈴／訳 ■定価880円
30分で読めて時代を生き抜く必読の1冊!!
変化は起きる！ 変化への対応こそ、組織の生き残りのカギ!?
予期せよ！ 気付け！ 適応せよ！ 変われ！ そして、楽しもう！

日本で370万部突破
世界中で累計2400万部の超ベストセラー
21世紀最も売れたビジネス書!!

7月24日放送 フジテレビ系『めざましテレビ』で紹介、大反響!!
仕事力が3倍増する
最新ビジネス書ベストセラー108冊
教養アップ、スキルアップに即使える、ビジネス本108冊分のダイジェスト！
勝間和代氏の金融リテラシー本、茂木健一郎氏の勉強本…。最近のベストセラーはビジネス書ばかり。
読めば身になる…ことはわかっていてもなかなか目を通す時間がないビジネスマンに向けて、'08年～'09年上半期のビジネス本からベスト本をコラムニスト・神足裕司氏がチョイス。
神足裕司監修 ■定価1,155円

文句だけを言っている時代は終わった。これからは何かを批判するなら、それに代わる案、つまり代案を提示すべきだ！
という著者が、有料メールの読者とともに作り上げた待望の書。世の中で「立ち行かなくなった」理想との乖離がはなはだしい！と誰もが認める諸問題について、今こそ大胆にメスを入れる。
文句だけ言ってんじゃねえ！
代案を出せ！
緊急出版
ついに出馬!?
マニフェストを発表！
日本を変える解決策を読者と一緒に考えた！
かつやまさひこ
勝谷誠彦
協力／「勝谷誠彦のXXな日々。」読者&迂闊屋 ■定価1,260円